

高齢者との交流学習指導計画

(事前5時間、交流活動4時間、事後8時間、計17時間)

※ () 内の赤字は添付資料

時	生徒の学習内容・活動	教師の支援
事前	3 <ul style="list-style-type: none"> ○「C&S質問紙」の実施 ○高齢者(福祉)について考える <ul style="list-style-type: none"> ◆地区の社会福祉協議会の方の話を聞く <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者(福祉)についての現状に関心をもって聞く ◆疑似体験をする <ul style="list-style-type: none"> ・アイマスクを使用したの視力障害者の疑似体験 ・高齢者体験(階段の上り下りなど) ・車椅子体験(押し方、段差の上り下り) ◆道徳「思いやりの心」の授業で思いやりの心について考える(学習指導案・ワークシート) 	小規模校のよさ：活躍の場を多く設定できる 小規模校のよさ：きめ細やかな支援ができる 道徳「思いやりの心」思いやりとはどのようなことかを考えさせる 要望書を確認することにより、具体的な交流計画を立てやすくなる
	2 <ul style="list-style-type: none"> ○交流する事業所及び施設を確認、決定する ○交流学習の計画と準備をする(要望書・自己紹介カード) <ul style="list-style-type: none"> ◆事業所及び施設からの要望書を確認する ◆役割分担、体験内容、仕事やマナーについて話し合う ◆自己紹介カードを作成する <ul style="list-style-type: none"> ◆施設及び事業所について調べる <ul style="list-style-type: none"> ・施設を利用している人数・仕事内容・場所、交通手段など ◆交流学習での出し物の練習、思いを伝えられる物の製作を行う 	どのような交流学習にするか再確認できる
当日	4 <ul style="list-style-type: none"> ○交流学習を行う【場所：各事業所及び施設】 <ul style="list-style-type: none"> ◆どうすれば楽しく気持ちのよい交流になるか考えながら活動する ◆細かな心遣いをして、感謝をしながら交流を行う 	高齢者交流学習
事後	2 <ul style="list-style-type: none"> ○交流学習のまとめをする(交流学習振り返りカード) <ul style="list-style-type: none"> ◆個々に交流学習の反省と感想を振り返りカードに記入する ◆受入事業所及び施設へのお礼の手紙を作成する ◆各事業所及び施設ごとにまとめる 	異学年交流学習に向けて
	5 <ul style="list-style-type: none"> ○発表会をする <ul style="list-style-type: none"> ◆発表会に向けての準備をする <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所及び施設ごとに発表会の準備を行う(グループ活動) ・発表方法を考える(ポスターセッションなど) ・交流学習を通して気付いたことや学んだことなどをまとめる ・役割分担を確認する・発表の準備をする(資料の作成) ・発表のシナリオができたなら、実際に話す練習をする ・進行(あいさつ・司会・その他)を決める【学級委員】 ◆発表会をする【各事業所及び施設関係者、1・2年生】 <ul style="list-style-type: none"> ・見ている人に分かりやすい発表をする 	
	1 <ul style="list-style-type: none"> ○学習全体を振り返り、今後高齢者とどのようにかかわっていったらよいかを考え、話し合う ○「C&S質問紙」の実施 	今後の生活に生かすために自己を振り返る 自己肯定感を高める 今後自分たちは何ができるのか、何をしなければならないのかを話し合わせる 各事業所及び施設からの感想などから「自分は役に立っている」「自分もやればできる」という感情をもたせる(事業所への「交流学習」事後アンケート) 事前・事後のC&S質問紙の比較とアンケート結果から生徒の変容を見取り、今後の生活に役立たせる

幼稚園との交流学習指導計画

(事前7時間、交流活動2時間、事後8時間、計17時間)

※ () 内の赤字は添付資料

時	生徒の学習内容・活動	教師の支援
事前	<p>○「C&S質問紙」実施</p> <p>○中学生になるまで(学習シート1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学習シート「中学生になるまで」の前半を事前に家族に聞きながら記入しておく ◆数人の生徒から事前に乳児・幼児・小学生(低・中・高学年)時代の写真を借りて、提示しながら成長の足跡をたどる ◆自分の成長の足跡をまとめて発表する ◆どんな人たちに支えられて成長してきたのか、その人たちへの思いも考えて発表する <p>○幼児と遊び(学習シート2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆グループになり、新聞紙・はさみ・のり等を使って自由に遊ぶ ◆他の人たちの遊びや幼児期の遊びを思い出し、どんな力が身に付くと考えられるかグループで話し合い、発表する ◆遊びの中から、様々な能力を身に付けて成長してきたことが、今後の生活にどのように生かせるか考える <p>○遊びと発達</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆幼児の遊びの様子を観察する ◆遊びを思い起こし、グループ内で話し合いをする ◆ビデオから気づきを記録する ◆発達段階によって遊ぶ内容や相手が違うことに気付く 	<p>小規模校のよさ：活躍の場を多く設定できる</p> <p>家庭「家族・家庭と子どもの成長」</p> <p>小規模校のよさ：きめ細やかな支援ができる</p>
	<p>○幼稚園との交流学習を実施することを確認する(幼稚園交流学習計画書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆説明を聞き、活動内容を知る ◆グループを編成をする ◆交流学習の計画を立てる(交流計画書を作成する) <ul style="list-style-type: none"> ・個々の交流の目当て ・まとめや発表に必要な準備 ・予想される遊びの内容 ・気を遣わなければならないことなど ◆交流学習の準備をする ・用意するもの、注意事項など 	<p>「交流学習計画書」を基にして綿密な計画・準備を行う</p>
当日	<p>○交流学習を行う【場所：幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆どうすれば楽しく気持ちよい交流になるか考えながら活動する ◆幼児と触れ合う中で、観察や体験をしながら幼児についての理解を深める 	<p>幼稚園交流学習</p>
事後	<p>○交流学習のまとめをする(幼稚園交流学習振り返りカード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆個々に交流学習の反省と感想を振り返りカードに記入する ◆幼稚園のお礼の手紙を作成する <p>発表会の資料作成に役立つ</p>	<p>異学年交流学習に向けて</p>
	<p>今までの異学年交流で上級生から学んだことを生かす</p> <p>○発表会をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆発表会に向けての準備をする <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに発表方法を考える(ポスターセッションなど) ・役割分担を確認する ・資料の作成をする ・進行(あいさつ・司会・その他)を決める[学級委員] ◆発表会をする[幼稚園関係者、1年生] ・見ている人に分かりやすい発表をする <p>○交流学習のまとめをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学習全体を振り返る <p>今後の生活に生かすために自己を振り返る</p> <p>自己肯定感を高める</p>	
	<p>○「C&S質問紙」実施</p>	<p>○「C&S質問紙」の結果から、生徒の実態を把握する</p> <p>○学習シートの記入については、家族に聞きながら、できるだけ具体的なことを書いてくるようにさせる</p> <p>○出生や生い立ちについては慎重に扱うようにし、写真の掲示が可能か否か吟味して学習内容に取り入れる</p> <p>○自分の成長や生活は、家族や身近な人々に支えられてきたことを理解させる</p> <p>○幼児と中学生の1日の過ごし方を対比させ、1日の多くの時間を幼児は「遊び」中学生は「授業」に使われていることに気付かせる</p> <p>○遊びの意義を理解させると同時に、成長の連続性に気付かせ、これまでの自分、今後の自分について考えさせる</p> <p>○幼稚園で幼児の遊んでいる様子を知らせる(VTR)</p> <p>○遊びは幼児の成長と深くかかわっていることを知らせる</p> <p>○この活動で個々が何を目標とするのかを明確にさせる</p> <p>○自分の小さかったとき(おもしろかった遊び、うれしかったことなど)を振り返らせ、幼児と楽しく交流するにはどのようなことをすればよいかを話し合わせる</p> <p>○幼児に合った活動を計画できるように助言する</p> <p>○まとめや発表を意識して必要な準備をさせる</p> <p>○幼稚園と事前に綿密な打ち合わせをする</p> <p>○時間が無い場合は、遊びを変えたり減らしたりしてもよいことを伝える</p> <p>○交流学習を通して気付いたことや学んだことなどを振り返らせ、内容に深みのあるまとめができるように助言する</p> <p>○個々の振り返りカードにまとめた内容を参考にさせる</p> <p>○グループで役割を決めて、効率よくまとめられるように計画を立てさせる</p> <p>○分かりやすく伝えるために、文章のまとめ方や構成を工夫させる</p> <p>○発表のために製作したものが仕上がったら、実際に掲示したり、動かしたりして、見え具合を確認しながら、修正・助言を行う</p> <p>○プログラム作成、司会やあいさつの原稿等の助言を行う</p> <p>○今後自分たちは何ができるのか、何をしなければならないのかを話し合わせる</p> <p>○幼稚園の先生方の感想などから「自分は役に立っている」「自分もやればできる」という感情をもたせる</p> <p>○事前・事後のC&S質問紙の比較とアンケート結果から生徒の変容を見取り、今後の生活に役立たせる</p>

小学校6年生との交流学習指導計画（事前5時間、交流活動2時間、事後1時間、計8時間）※（ ）内の赤字は添付資料

時	生徒の学習内容・活動	教師の支援
事前	<p>小規模校のよさ：活躍の場を多く設定できる</p> <p>○「C&S質問紙」の実施 小学校6年生に事前アンケート「中学校生活で心配なこと」</p> <p>1 ○小学生にとって、中学校生活のどんなことに不安や疑問を感じているかを考える ◆1年前の自分たちを振り返る ◆小学校6年生の事前アンケートを確認する</p> <p>○新入生説明会についての計画と準備をする ◆役割分担をする</p> <p>・学校行事 ・学校生活の一日の流れ ・設備、施設 ・学習全般 ・生徒会、委員会活動 ・部活動 ・服装、自転車通学 ・その他</p> <p>自分の1年前を振り返らせることにより、資料を作成しやすくなる</p> <p>今までの異学年交流で上級生から学んだことを生かす</p> <p>○資料作成・発表原稿作成 ◆上記の役割分担ごとのグループで作成する ・発表方法を考える（ポスターセッションなど） ・説明会で必要と思われる内容の取材（インタビュー・撮影など） ・事前アンケートで不安に感じていることについてまとめる ・発表原稿ができたなら、実際に話す練習をする ・進行（あいさつ・司会・発表順番・その他）を決める</p>	<p>小規模校のよさ：きめ細やかな支援ができる</p> <p>○「C&S質問紙」の結果から、生徒の実態を把握する ○事前アンケートでは、6年生にどんな小さな不安や疑問でも書けるような言葉がけや雰囲気づくりを心がける ○自分たちの1年前を振り返らせることにより、課題意識をもたせる ○アンケートに書かれた内容について生徒が作業しやすいように、あらかじめ役割分担ごとに分類しておく ○相手の気持ちや立場を尊重し、思いやりの心をもって、誰に対しても温かく接していこうとする気持ちを高めさせる ○グループで役割を決めて、効率よくまとめられるように計画を立てさせる ○グループ内のすべての生徒が活躍できる場を設けさせる ○6年生が不安や疑問に思っている内容については、詳しく説明できるように準備させておく ○話し方・態度など、考えながら練習をさせる ○仕上がったら、実際に掲示したり、動かしたりして、見え具合を確認しながら、修正・助言を行う ○プログラムの作成、司会やあいさつの原稿などの助言を行う</p>
	<p>4</p>	<p>小学校交流学習に向けて</p>
当日	<p>○新入生説明会を行う【場所：中学校】 ◆6年生に理解してもらうための発表を心がける ◆グループ内で協力して発表する</p> <p>小学校交流学習</p>	<p>○6年生に対して、生徒たちが発表に向けて努力や苦労したこと、不安や疑問が解消するために真剣に取り組んできたことなどを伝える ○聞き取りづらい発表をしている生徒への助言をする</p>
事後	<p>○新入生説明会のまとめをする ◆小学校教師と6年生に対して「新入生説明会を振り返って」を確認する ◆個々に新入生説明会の反省と感想を振り返りカードに記入する</p> <p>○「C&S質問紙」の実施 小学生や教師からの感想によって、達成感や満足感を得ることができる 自己肯定感を高める</p>	<p>○小学校教諭と6年生に対して「新入生説明会を振り返って」を記入してもらい、回収した資料を分析・整理する（新入生説明会事後アンケート[児童用・教師用]） ○記入してもらった結果や感想から「自分は役に立っている」「自分もやればできる」という感情をもたせる ○事前・事後のC&S質問紙の比較とアンケート結果から生徒の変容を見取り、今後の生活に役立たせる。</p>

特別支援学校との交流学習指導計画

	中 学 校	特 別 支 援 学 校
実態把握	交 流 学 習 に 向 け て	
	<ul style="list-style-type: none"> ●本人の願い、「交流学習」意識調査 ●「C&S質問紙」の実施 ●保護者・地域の願い ●担任・教職員の願い(職員会議) 	<ul style="list-style-type: none"> ●本人の願い ●保護者・地域の願い(参加承諾) ●担任・教職員の願い(学部会・職員会議等) ●校舎等の施設設備の確認
事前	中学校から特別支援学校へ学校祭の参加を依頼	
	●行事予定の確認等(管理職間)	
	学 校 間 の 打 合 せ ※場所:特別支援学校	
	<ul style="list-style-type: none"> ●本年度の計画・事前学習:障害をもっている人たちの理解のための授業検討 ●学校祭のPR活動、当日の生徒の動き(集合場所、解散・活動内容等) ●障がいをもつ人たちの理解のための授業案の検討 	
	特別支援教育コーディネーター, 各学年主任, 各学級担任, 生徒代表者(数名)	交流学習担当, 特別支援教育コーディネーター, 生徒代表者, 学校祭担当者(数名)
	事前学習「特別支援学校と障がいの特性を知ろう」(全校集会) ※場所:中学校	
	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援学校の特別支援教育コーディネーター及び交流学習担当が講師を務める ●事前に昨年度の学校祭のビデオから特別支援学校の生徒の様子を紹介用DVDとして作成し、視聴する 	
実践	交流学習1 「学校祭のPRをしよう」(全校集会) ※場所:中学校	
	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援学校の生徒会・学校祭担当生徒が中学校で学校祭のPRを行う ●学校祭日時、準備日時、活動内容等の確認する 	
	学 校 間 の 打 合 せ ※場所:特別支援学校	
	●学校祭の準備で必要な道具等や当日の流れの確認	
	交流学習2 「学校祭の準備をしよう」 ※場所:特別支援学校	
	●自校紹介 ●作業製品作り ●学校祭当日の活動の確認 ●名札の作成(自己紹介用の写真等)	
	交流学習3 「学校祭」 ※場所:特別支援学校	
	●中学校と特別支援学校のそれぞれの生徒と一緒に催し物に参加する	
事後	事後学習 「交流学習を振り返ろう」	
	<ul style="list-style-type: none"> ●活動を振り返って、自己評価と感想を書く ●「C&S質問紙」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●VTRを見ながら、振り返りをする ●楽しかったこと、心に残ったことなどを発表する